



AI面接評価レポート

総合評価

ID U00000001

氏名 佐藤 奈央

カナ サトウ ナオ

性別 女性

会社/団体名 株式会社タレントアンドアセスメント

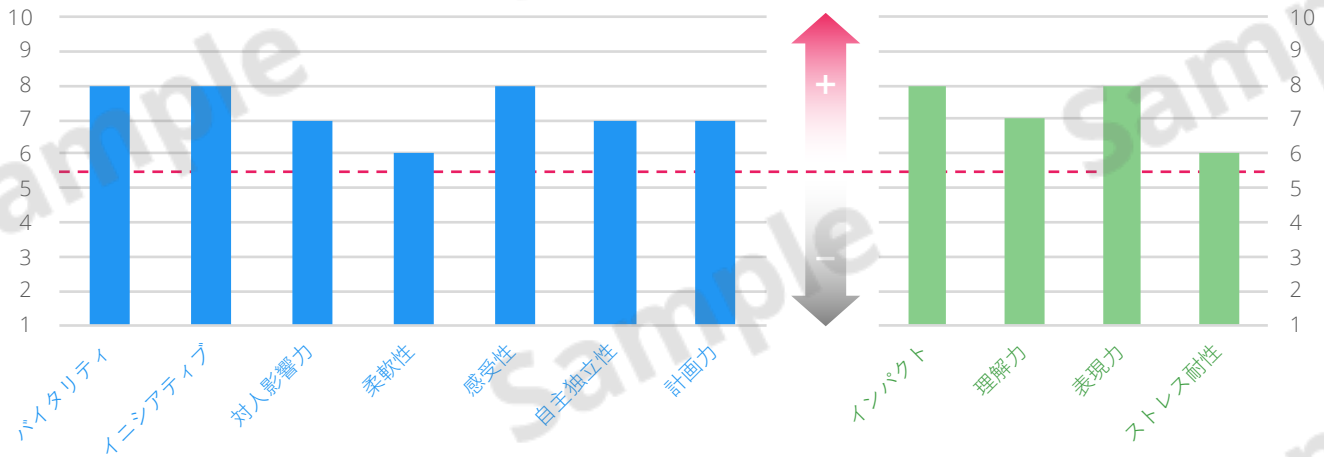
面接開始日時 2017/11/05 20:03

面接終了日時 2017/11/05 21:26



質問項目

観察項目



総合評価

「部の誰よりも練習した」と断言できるほどの練習量を積み重ねることで、絶対音感がないという逆境も克服しコンサートマスターになっただけでなく、部員全員から推薦され部長になったという経験が、あふれる自信と安定感の土台となっている。

アルバイトをしながら、時には食事も忘れ一人で朝から晩まで練習を続け、目標の先輩に近づこうと向上心を持ち続け努力してきたことが周囲に認められ、コンサートマスターに推薦されたという実績からも、バイタリテイとイニシアティブは際立って高い。

明るくハキハキしておりエネルギッシュであるだけでなく、言葉にはしっかりとした自信と安定感も感じられる。

全般的にスコアが高くバランスも取れており、様々な場面において能力を発揮し、また将来的にはリーダー的資質も発揮出来る人材であると思料する。

特徴・傾向

目標意識が高く、率先してやるべきことに着手し、目標達成のために創意工夫する。困難があっても簡単には諦めず、粘り強く取り組んでいく。自己主張が強く反対意見に気後れすることもなく、主導的にことを進めていく。秀でて見える。リーダー的資質を備えている。



バイタリティ 課題をやり遂げようと、最後まで自己を投入させていく能力

大学入学後、まったくの未経験で入部したビッグバンド・ジャズサークルで、「入部するきっかけとなった先輩のように上手に演奏がしたい」という一心で、練習量でしか追いつく方法はないという信念で、部活の練習が終わった後も、1日4時間の自主練習を丸2年続けた。時には食事を取ることも忘れ練習に没頭する日もあった。
2年目の早い段階で技術も他の部員に追いつき、目標にしていた先輩から練習に臨む姿勢を褒められ、さらに新たな目標としてコンサートマスターを目指すことにした。
その結果3年目には、絶対音感がないというハンディにも負けずコンサートマスターとなり、部員全員から推薦され部長も務めることとなった。

大学時代に、期末試験の前に交通事故で2週間ほど入院してしまい、授業にも出席できずほとんど勉強が出来ない状況だった。
しかし試験をどうしても受けないと留年してしまう可能性があったため、担当の先生と両親に相談し、無理を言って早く退院させてもらった。
家に戻ってから遅れた分を取り戻そうと、5日間ほぼ徹夜で勉強をし、試験の範囲の勉強を終わらせた。
結果、無事に試験を乗り越え、単位を取得することができた。
その経験があったおかげで、その後の日々の学校での勉強の集中度は以前より高まった。

イニシアティブ より高い目標に向けて、自ら進んでなすべきことを考え出し、他に先んじて行動を開始する能力

アパレル販売のアルバイトで、特に店長からノルマなどを与えられていたわけではなかったが、アルバイトの中で売上トップを目指そうと思い、自分で出来ることを考えようとした。そこで、商品の仕入価格や値引き額などを事前に店長に聞き、それを踏まえてお得感などを感じさせるセールストークを自ら考え、販売した。
また、売上をさらにアップするために、商品の特徴や売り方などを、別店舗の販売員に電話して成功事例などを聞き出し、自らの販売手法に取り入れ、売上額を伸ばした。
アルバイトを続けている間は、社員を差し置いて店舗でトップの売上を上げ続け、最後の年には、会社からアルバイト中の最優秀販売員賞を受けた。

ビッグバンドサークルでは、まったくの未経験で入部したため、経験者に追いつくには練習量はもちろん必要だが、練習方法もありきたりの方法ではいけないと思い、より効果的な練習方法を考えた。
自主練習のうち1時間は音階やシンプルなフレーズの繰り返しとリズム練習のみを行い、基礎を作ることを徹底した。いい演奏をたくさん聴くようにし、また自主練習の際はプロが演奏している動画を常に流してそれを見ながら練習し、自分が上手く演奏しているイメージを徹底的に刷り込んでモチベーションを上げた。かつ自分の演奏している様子もスマートフォンで撮影し、先輩にアドバイスをもらった。
これらの積み重ねの結果、他の部員からも実力を認められるようになり、1年で経験者を追い越すことができた。

対人影響力

個人や集団に対して働きかけ、目標達成の方向にまとめていく能力

ビッグバンドサークルの部長を努めている際、練習にあまり来ない部員に対し能動的に練習に参加してもらうために、個別に対話の時間を作り、一人ひとりとじっくり向き合ってコミュニケーションを取るようにした。

その際、なぜ練習に来ないのかということよりも、なぜ一番最初にビッグバンドをやりたいと思ったのか、ビッグバンドのどんなところに魅力を感じて入部しようと思ったのかなど、当初のモチベーションを再度思い出させ、その気持ちを達成したいのであれば、練習するしかないということ腑に落ちさせ、説得するのではなく各自が練習したいと思わせるような形で参加させた。

また、自分自身、練習してもまったく技術の上達が追いつかずに悩んだ経験などを話しながら、部員との距離も縮め、サークルの一体感を高めた。

ビッグバンドの合宿の場所をどこにするかという部の幹部メンバーとのミーティングで、自分は意見を出す側ではなく、みんなに意見を出してもらうための進行役をした。合宿の場所は山や海、音響の良い会場などバラバラな意見が出て結論を絞っていくのが大変だった。

意見を出した人に希望場所のメリットとデメリットやそれぞれの意見のポイントを聞き出し整理した。その後ホワイトボードに書き出して全員がわかりやすくなるようにリーディングした。結果、コスト面を考えて山の合宿所に決定し、メンバー殆どが納得してベストな結論を出すことができた。

柔軟性

状況に応じて自分の行動やアプローチを修正・適応していく能力

アパレルの販売アルバイトをしていた際、体調を崩し2週間ほど仕事を休んだ影響で、締め切り1週間前で自分で立てた販売目標にまったく届かないという状況に陥った。その月は目標達成は諦めようと思ったときもあったが、とにかく自身の過去の一番低い実績だけは上回ろうと考え、目標金額を修正した。

部活との両立で時間を捻出するのは容易ではなかったが、その目標を達成するために部活の自主練習を夜に行うように生活パターンを変え、店長に頼んでシフトを多く入れてもらい、何とか修正した目標を達成した。

大学二年の時ビッグバンドの発表地区予選で、電車の事故によって数人が集合時間に間に合わないという状況があった。自分を含め、会場に到着しているメンバーで運行状況を調べ、別なルートで間に合わないかなど、様々なパターンをシミュレーションしたが、間に合いそうになかった。

集合時間に間に合わないと、練習時間も無くなり、今まで練習した成果を発揮できないと考えたので、発想を変えて予選会の運営委員に事情を説明し、演奏の順番を変えてもらえないか、ダメ元で申し入れてしてみた。

何とか受け入れていただき、無事全員揃って演奏をすることができたが、私を含めバンドメンバーが動揺してしまい、日ごろの練習の成果が出せず地区予選を通過することができなかった。以後、電車が遅延しても間に合うよう、最低1時間前に現地に着くように決めた。



感受性

個人や集団の感情や欲求を感じ取り、それに適切に反応する能力

アルバイトの同僚からアルバイト先での人間関係について相談された。同じポジションの人なのでうまく付き合わなければならないのだが、取っつきにくい人でなかなか人間関係を構築できない人がいるので、どうしたらいいかという相談であった。

1対1では難しいと思い、アルバイトのメンバーたちで食事に行った際、自分とその同僚と相談相手の3人で話す状況になるように持っていった。

食事中、自分は仲人役のような役割を努めようと、その同僚のことをさり気なく持ち上げつつ、相談相手にもいい印象を持たせるように場を盛り上げた。また相談相手自身の本音も引き出し、帰る時点では二人が笑って話せるような状況にまで打ち解けていた。

相談相手からは、人間関係がくれたおかげで仕事もスムーズに出来るようになったと感謝された。

アパレル販売のアルバイト先で、服が大好きなのでアルバイトを始めたという後輩がいた。しかし、お客さんの好みを考えずに自分がいいと思った商品をすすめるような売り方をしていたので、販売の成績があまりよくなかった。

そこで上から目線で指導するというのではなく、セールストークをこうしたら売れたよ、というように経験をシェアするような言い方で伝え、本人の気持ちを尊重し傷つけないよう配慮しながら指導した。

後輩も販売の成績が徐々によくなった。感謝され、今ではプライベートでも遊びに行くほど仲がよくなった。

自主独立性

周囲の意見や反応に惑わされず、自分の信念に基づき職務を遂行する能力

ビッグバンド部の部長になった際に、個別練習より全体練習の割合を高くしようと提案した。個別練習で個人の技術が上がらなければ全体練習をしても意味がないという周囲の意見に対し、個別練習は全員が集まるとき以外に自主的にやるものだという自説を曲げずに最後まで貫き通して説得し、結果的に全体練習の比率を大きく増やした。

全体練習は週3回あり、全体練習までに自主練習やパートごとに集まって練習するようになった。全員の練習量が増えレベルが上がり最終的にコンクールでの東京地区大会2位という結果に繋がった。

ビッグバンド部でコンサートマスターを決める際に、何を一番の基準にして決めるかということで意見が分かれた。

演奏技術や人間性、どの楽器パートの人にするかなど、色々意見が出たが、自分は目標にしていた先輩のコンサートマスターが、人間的にすごく尊敬できて素晴らしい方だったので、技術や楽器パートよりも人間性を一番優先すべきだという意見を貫いた。人間性を優先をすることのメリットを伝えることで理解してくれる部員が増え結果的に、演奏技術はトップレベルではなかったが、自分が選ばれ、部長とコンサートマスターを兼任することになった。尊敬する先輩に近づけるよう、またビッグバンド部をもっと良い部にしていこうという気持ちが強くなった。



計画力

目標達成に向けて、与えられた経営資源を、効果的に計画・組織立てる能力

大学受験では、当時尊敬していた部活の先輩が、現在在籍する〇〇大学に入学したため、自分も何としても入学したということで第一志望で受験した。受験開始当時は模擬試験でC判定ばかりだったが、受験勉強を過去問一本に絞り、10年分の過去問を受験までに2周するという計画を立てた。

1日にできるページ数をリスト化し、チェック項目と間違えた問題番号を記入する欄を作成して、間違えた問題を繰り返し練習した。苦手な問題を克服することで2周目の間違いが少なくなった。結果受験直前でA判定となり、第一志望の大学に入学した。

語学習得と異文化に触れたかったので、大学3回生での短期留学を希望していたが、費用を親に頼るわけにもいかず、どのように捻出するのか計画を立てた。

まずかかる費用から年間いくら貯められるかを計算し12か月で割り1月の金額を出した。授業とテスト、サークルの予定を全て確認してスケジュールリングし、テストがある月、夏休みや冬休みなど長期の休みがある月など、月によって稼げる月と稼げない月があるが、トータルして目標の金額を貯められるようにした。

またお正月やお盆は短期の時給が高いアルバイトを入れ、かけもちした。

他には、目標金額と稼いだ金額をグラフにするなどしてモチベーションを自身の保った。支払い期限までに目標の金額を貯め留学ができ、語学習得や異文化を経験することができた。



インパクト

自信ある態度や親しみやすい雰囲気、他から注目を引き、自分の存在を強く印象づける能力

- 清潔感 : 服装や髪型も整っており、清潔感がある。
- 態度 : リラックスしており落ち着いた態度で面接に臨んでいる。
- 好感度 : 視線もしっかりと一点を見て話すなど、非常に安定した印象で好感度は高い。

理解力

会話や文章の中から、その要点を正しく早く理解する能力

- 頭の回転 : 質問に対するレスポンスも良く、スムーズに回答している。
- 正確性 : 回答内容も的確で、概ね質問の意図は正確に理解していたが、時折、深掘り質問に対し少しずれた回答をする場面があった。

表現力

自分の考えや情報を、会話や発表場面で明確・効果的に表現する能力

- 明瞭性 : 声量も大きく語尾まではっきりと話している。
相手に伝えようという意志も感じられ、平均以上の表現力である。
- 簡潔性 : 回答内容が簡潔で理解しやすい。
- 伝達力 : 話す内容が整理されている。
情景描写にも長けていて状況がとても理解しやすい表現をしていた。

ストレス耐性

諸々の圧力や抵抗の中でも、安定して課題をやり遂げる能力

- 落ち着き : 面接開始時は若干早口で焦る話し方だったが、後半は落ち着いて回答していた。
- 平常心 : 最初緊張が伝わってきたが直ぐに慣れ、自分のペースで回答していた。
- 克服力 : 緊張はするも、環境に対する回復力が早い。